



# あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumas>

杉並区立天沼小学校



## なでしこジャパンの凱旋

校長 中島 豊

ナデシコは、「撫子」あるいは「瞿麦」とも記され、淡いピンク色の花弁をもつ秋の七草の一つです。花言葉は、純愛・無邪気・思慕などで女性的なイメージが強いようですが、才能・大胆・快活などの意味もあります。

### 「なでしこジャパンが銀でおわっていたら…」

記憶を7月18日早朝の女子ワールドカップ決勝「残り3分」に巻き戻しましょう。キャプテン・澤穂希選手の一撃は、まるで居合刀の白刃のように鋭く値千金のゴールを切り拓き、ここまでか、よくがんばったと半ば諦めかけていた日本中のサッカーファンを一気に奮い立たせました。続くPK戦でのGK海堀選手の冷静沈着なセーブ。一人一人の選手が着実に果した自分の役割、戦うごとに成長していったチームプレー…どの要素を欠いても、今は違う日々になっていたに違いありません。夏休み直前の奇跡が、世界一の余韻の中で、響きも懐かしい「なでしこフィーバー」を巻き起こしたのです。

「なでしこジャパン」の名の由来は、もちろん、「大和撫子(ヤマトナデシコ)」です。2004年にサッカー女子代表愛称の募集があり、応募数2,700から最終選考で決定されたもので、「世界に羽ばたき、世界に通用するように」との願いを込めて「ヤマト」が「ジャパン」となったとのこと。愛称制定後の最初の試合では代表は3-0で勝利し、「なでしこジャパン」の呼称は大きくアピールされ、その年の新語・流行語大賞候補にもノミネートされました。女子代表の現在のユニホームは男子代表と共通のデザインですが、首下や脇下にナデシコの花の色、ピンクのラインがあしらわれているのをご存知の方は相当なサッカー通でしょう。

天沼小学校では、ご存知のようにCS(コミュニティースクール～地域運営学校)やAW(あまぬまワンダラーズ～学校支援本部)が教職員やPTAと役割を分担して、新校舎を拠点とする学校運営を展開しています。学校支援本部がゲストティーチャーのコーディネートや放課後活動(スポーツ、音楽、土曜日学校等)を担当しているので、教員は本来勝負するところである授業の質的向上に向けて、教材研究や児童理解に取り組む時間が確保されるようになりました。PTAもその設立の趣旨どおり、児童の育成に向けての学校との連携や会員相互の啓発・親睦といった活動の活性化が図られています。設立2年目を迎えているCSの会議体である学校運営協議会は、

毎回の協議を公開することはもとより、夏季休業日には教員とのヒヤリングを行ったり、新校の防災設備を実際に地下2階まで降りて確認したりして、精力的に情報の発信や収集に努めました。そして、学校が置かれている様々な状況を把握しつつ、校長・副校長のプレーンとしての位置取りを模索しています。

もちろん、その過程ではいくつかの考え方や意見の対立、メンバー同士の衝突、誤解が発生しました。現在進行形のものもあります。しかし、新しいシステムで協創する組織を構築するときにそういった摩擦が生じるのは当たり前のことです。慶應学術事業会「慶應丸の内シティキャンパス」の知的基盤能力プログラムによれば、チームの成熟のためには、「相手への否定的な枠組みと、自分を正当化しようとする意識に気づくことで対立を乗り越え、協働意識を醸成する」ことが必要といわれます。

それぞれの長や役員は、互いの意見を尊重しつつ、よりよい方向を探りながら課題を克服してきました。表面にはなかなか出ないところで努力されているスタッフの活動も一つや二つではありません。天沼小の子供たちの教育活動のために、そして施設を利用するすべての人々が満足することのできる共有空間を実現するために、新しい公共としての与えられた役割を果たしながら、歴史は浅いが日進月歩する新設校「チームあまぬま」の屋台骨を担っているのです。

世界選手権でも高校野球でもスポーツの大会を制するチームには、逆境を乗り越えてきた一戦一戦に様々な発展の足跡が見られます。それはチームワークであったり、個々の選手の成長であったり、フロントの理解であったり…状況は様々ですが、結果として振るようにつまのベクトルを形成し、成果に結びついていると考えられます。チームの一体感は、価値観やめざす方向・目的、理想的なシナリオを共有することで生まれるのです。それを、なでしこジャパンはフランクフルトの地で実証してくれたのでした。

ヤマトナデシコの花言葉は、可憐・貞節です。帰国してメディアのインタビューに答えるイレブンの表情には弾けるような笑みが零れていました。しかし、これから待ち受ける厳しいオリンピック予選を勝ち抜こうとする決意に満ちたものでした。日焼けした子供たちの歓声が戻ってきた学校、私どもも秋の陣に向けて盾を上げて臨んでいきます。

## ……今月の目標……

### 生活

暑さに負けず規則正しい生活をしましょう

### 保健

からだの調子を整えましょう

### 給食

よい食事の習慣を身につけましょう





☆ぶうでもくれました。ほんのちょっとおよげました。

**1-1 にしうらきら**

☆すいえいのじかんで始めてもくれました。

**1-1 いわみひろき**

☆ぶうがこわいです。でもおともだちがおしえてくれました。

**1-2 へんみべか**

☆もうちょっとふかくもくれるようになりたいです。

**1-2 みしまこうた**

☆みずのなかでめをあけられるようになりたいです。

**1-3 うえやまみすず**

☆もくれるようになりたいな。

**1-3 にいじまかずや**

☆お池にぽっちゃんてうけるようになったのがうれしかった。

**2-1 五十住飛鳥**

☆たくさんれんしゅうして、けのびができるようになりました。

**2-1 岩井マリエ**

☆ぼうをもってういて、かおをつけられて、たのしくなってきました。

**2-2 小山 莉子**

☆水中タクシーのじゃんけんでずっとかててよかったです。

**2-2 高木 慶**

☆横から横まで、ロケットとバタ足で泳ぐ時、ふつうに泳いだのにすごく速く泳げました。びっくりしました。もっと、泳げるようになりたいです。

**3-1 岡田 詩穂**

☆25mばた足ができました。とても楽しかったです。またみんなとやりたいです。プールに入るのを楽しみにしています。

**3-1 大久保海音**

☆着衣水泳で洋服を着てプールに入ったら重い、あわが出てびっくりしました。

**3-2 岡田菜な子**

☆もこもこバタ足が上手になり、クロールができるようになりました。

**3-2 柴田 航**

☆ずっと練習しましたが、かえる足ができませんでした。2学期になったらがんばりたいと思います。

**4-1 河野 洋希**

☆着衣泳でバタ足をした後、ちょっとだけバタ足をするのが楽なような気がしました。

**4-1 櫻田 夏実**

☆水の中 キラキラ光 さしこんで 泡もキラキラえがおキラリ

**4-2 坂口美由希**

☆さあ夏だ プールにしみいる セミの声 みんなの声と 一緒になった

**4-2 峰岸 大和**

☆苦手な泳ぎがたくさんありましたが、練習してできるようになり、うれしかったです。

**4-3 福原 鈴奈**

☆わたしは着衣泳が楽しかったです。洋服を着たまま泳ぐのは大変でした。

**4-3 脇水 陽菜**

☆ぼくの目標はクロールで25m泳ぐことでした。夏休みのプールで息つぎのしせいのままビート板をもちたり、ビート板クロールの練習をしたりして25mを泳ぐことができました。去年級が上がらなかったのととてもうれしかったです。

**5-1 金井 亮介**

☆今年は、水泳の勉強で速く泳げるようにしたいと思いました。スイム駅伝では速く、たくさん泳げるように、チームの人と協力しました。夏休みには、クロールや平泳ぎで直すところを教えてもらって細かいところまで練習しました。これからも、速く泳げるようにがんばります。

**5-1 長坂 咲理**

☆ぼくは、特別講習プールで、先生にクロールの泳ぎ方のコツを教えてもらってやっと25m泳ぐことができました。次の目標は、上手な息つぎです。

**5-2 吉村 力**

☆わたしは、クロールで速く泳ぐために、手のかきに気をつけています。手のかきを意識しながら泳ぐと、少しずつ速く泳げるようになってきました。これからも、たくさん泳いでクロールでもっと速く泳げるようになりたいです。

**5-2 但馬 諒子**

☆初めてのスイム駅伝のときは、クロールの5分間がすごく長く感じました。友達や先生に上手に泳げるコツを教えてもらい、疲れずに速く泳げるようになりました。平泳ぎの基本的な足の動きをしっかり練習したので、検定で緑4に上がりました。

**6-1 上泉 慶太**

☆平泳ぎやクロールでは、「伸び」を意識して泳げば速くなると思い、練習に取り組みました。課題別コースに分かれた練習でもたくさん泳いで水に慣れ、検定では黒1に上がりました。泳ぐのが楽しくなってきたので、もっと進級できるようにがんばります。

**6-1 山下 芽萌**

☆受かった! 検定で平泳ぎの足を受けていた私は4回目でやっと受かった。今年中に平泳ぎの25mをできるように目標をたてているから、次は本来の平泳ぎをがんばりたい。

**6-2 浅野井瑞季**

☆僕は去年、自己ベストの記録を友達にぬかれました。その為「今年は記録を上げる」という気持ちで一学期の水泳に臨み、なんとか4秒縮めることができました。僕にとって今年が最後の水泳なので思いっきり楽しみたいです。

**6-2 山中 和也**

☆クロール25mをおよくことができてうれしかったです。

**こだま 真境名 悠**

☆クロールのタイムをちぢめられてよかった。

**こだま 松本 龍**

「クールヒート・トレンチ」という言葉を知っていますか。外気に比べて夏涼しく、冬暖かい地中熱を利用して行う空調です。

天沼小では、井戸水の原理で、一年中一定の温度を保っている地下を通ることで特に夏は外気より涼しく、冬暖かくなるのです。昇降口の横から外気を取り入れて地下2階へ流し、空気を地下の温度にしながらか教室、

オープンスペースやセンターコートへ循環させています。

校内の快適な温度を保ち、学習に取り組みやすい環境をエコを利用して作っています。また、自然の風を利用しているので、CO<sub>2</sub>排出量

もゼロです。児童用玄関のモニター画面でチェックできるので、一度、ご覧になってください。

## 天沼の魅力vol.5